

コーパスに基づく中国語の“把”構文の認知言語学的分析

The Analysis of Chinese ba Constructions on the Point of View of Cognitive Linguistics

秋山 淳

AKIYAMA Makoto

摘要: 本論文将使用介词“把”的构式, 比如“张三把李四追累了”(a. 张三追李四, 李四累了/b. 李四追张三, 李四累了)设定为“NP_a+把+NP_b+VP”这个构式图式, 以现代中国电视剧中使用的“把”字句为语料, 从认知语言学的角度进行分析。通过分析得出以下四点结论: 把字句遵循时间顺序规则, 即符合象似性(iconicity)的构式(Tai1985); 把字句包含相对宽松的因果关系; 解释把字句的意义, 需要结合关于NP_a、NP_b和VP类别的百科知识, 即框架语义的视角; 通过有效地利用台球模型(billiard-ball model(Langacker2008)), 证明“X使Y改变状态或者使Y转移”是其原型意义(因果关系), 并且这个意义进一步扩张到不包含有“X使Y改变状态或者使Y转移”的情况。

キーワード: フレーム意味論、因果関係、時間順序、ビリヤードモデル

目次

- 0 はじめに
- 1 把構文の形式
- 2 データ
 - 2.1 NP_a+把+NP_b+VR
 - 2.2 NP_a+把+NP_b+V+DC
 - 2.3 NP_a+把+NP_b+V+NP_c
 - 2.4 NP_a+把+NP_b+V+了
 - 2.5 NP_a+把 NP_b+V 得+C
 - 2.6 NP_a+把+NP_b+V+(NP_c)+動量
 - 2.7 NP_a+把+NP_b+P+NP_b+V
 - 2.8 NP_a+把+NP_b+V+着

2.9 NPa+把+NPb+V(一)V

3 考察

3.1 ビリヤードモデル(billiard-ball model)と時間順序原則(iconicity)

3.2 ビリヤードモデルと用例

3.2.1 VP-VR(動詞+結果補語)

3.2.2 VP-VD(動詞+方向補語)

3.2.3 VP-V+NPc

3.2.4 VP-V+了

3.2.5 VP-V 得 C

3.2.6 VP-V+(NPc)+動量詞

3.2.7 VP-P+NPc+V

3.2.8 VP-V+着

3.2.9 VP-V(一)V

4 おわりに

5 余論

参考文献

0 はじめに

中国語では「主語の目的語への動作行為が目的語の状態などを変化させる」という使役義にも、「主語の目的語への動作行為が主語の状態などを変化させる」という非使役義にも何れにも解釈可能な構文に結果複合動詞(以下 VR とする)を用いた結果構文(以下 VR 他動詞構文とする)がある¹：

(1) 张三追累了李四了。

- a. 「張三は李四を追いかけて、李四が疲れた」(使役義)
- b. 「李四は張三を追いかけて、李四が疲れた」(使役義)
- c. 「張三は李四を追いかけて、張三が疲れた」(非使役義)

拙稿秋山 2018a,b,c,秋山 2021 では VR 他動詞構文では変化を被る対象が主語なのか(非使役義)、それとも目的語なのか(使役義)は主語や目的語の種類、V や R の種類などといった百科事典的知識、即ちフレーム意味論の考え方を導入する必要があることを主張した。²

¹ 沈家煊 2004 からの用例である。

² Langacker2008(山梨正明監訳 2011)では認知領域という。

一方、同じ VR “追累” を用いても、使役義のみの解釈しかない構文に把構文がある。³

(2) 张三把李四追累了。⁴

a. 「張三は李四を追いかけて、李四が疲れた」(使役義)

b. 「李四は張三を追いかけて、李四が疲れた」(使役義)

(4)は“把”に導かれた名詞“李四”が変化を被る対象であるという解釈になり、主語の“张三”が変化を被る対象には解釈されない。つまり、(4a)、(4b)はどちらも主語“张三”は原因主/使役主(Causer)、“把”に導かれた名詞“李四”は被使役主(Causee)に解釈されるのである。このことから、把構文においては、主語が原因主に、“把”に導かれた名詞が被使役主に解釈される構文であると想定される。

しかしながら、把構文に現れる動詞フレーズ(以下 VP とする)は主語が把目的語の状態を変化させるという意味には解釈されないものも存在する：

(3) 妈，咱们一家人好好把这顿饭吃了。(《以》第 38 話)⁵

「家族で食べましょう。」

(4) 房东太太，我这就把墙再刷一遍。(《以》30 話)

「大家さん、壁は塗り直します。」

(3)の VP は動詞＋アスペクト、(4)は動詞＋動量詞である。(3)はこれから完了することを表し、(4)はこれから把目的語を処置することを表しているが、いずれも(2)のような把目的語の何らかの変化を表すものではない。本稿は把構文がなぜ(2)、(3)、(4)のように把目的語の変化を表すものとならないものがあるのかという問題意識を手がかりに、把構文は時間順序の法則(The principle of temporal sequence)、いわゆる iconicity に従った構文であり、比較的緩やかな因果関係を構文義としているが、NP 主語や目的語の種類、VP の種類といった百科事典的知識、いわゆるフレーム意味論的視点との融合により、「X が Y の状態・位置を変化させる」という意味をプロトタイプ(因果関係)としてもち、「X が Y の状態・位置を変化させる」という意味を持たない用法まで拡張している仕組みを明らかにしようとするものである。なお、通常、無標の動詞は把構文には用いられないと言われているが、用例ではいくつか無標の動詞を用いたものが見られた。しかし、助動詞

³ Tai James H-Y 1985、Feng-fu Tsao 1987、薛风生 1987、Tai James H-Y 1989、Tai James H-Y 1993、石毓智・李讷 2001、张伯江 2001、沈家煊 2002、崔希亮・赵霞 2003、胡文泽 2005、2010、屈承熹 2010、木村英樹 2012、曹泰和 2012 陆俭明 2016、张伯江 2019、屈莉 2021 やその他数多くの先行研究がある。

⁴ 沈家煊 2004 からの用例である。

⁵ 《以家人之名》(家族の名において)：湖南衛星テレビで 2020 年 8 月 10 日 から 2020 年 9 月 6 日にかけて放映されたドラマ。以下、《以》と表記する。

(“一定会”、“不该会”)や“是～的”などの要素があるため、考察の対象外とした。

1 把構文の形式

屈承熹 2010 は把構文の形式を次のように定義する：

(5) 主語＋把＋目的語＋動詞＋補語

把の後の目的語は定または総称であり、少なくとも話し手にとっては既知ものであること、動詞の後ろには補語など何らかの要素が付加されるという。

崔希亮・赵霞 2023 は把構文を一步進んで次のように定義する。

(6) NP_a ＋ 把 ＋ NP_b ＋ VP

AGENT	PATIENT	意味レベルでのプロトタイプ概念
CAUSER	CAUSEE	事象レベルでのプロトタイプ概念
SUBJECT	OBJECT	統語レベルでのプロトタイプ概念

(7) 他把杯子打碎了。⁶

「彼はコップを割った」

(6)を(7)の用例で説明すると、(7)のNP_a“他”は意味レベルではAGENT、事象レベルではCAUSER、統語レベルではSUBJECT、NP_b“杯子”は意味レベルではPATIENT、事象レベルではCAUSEE、統語レベルではOBJECTである。本稿も(6)に基づき、把の前の名詞をNP_a、“把”の後の名詞をNP_bとし、(6)を把構文の構文スキーマとして分析を行う。把構文が実際、どのように使用されているかを確かめるために、用例は現代中国ドラマから収集した。

2 データ

先ず収集した把構文の結果を示すと以下ようになる。

VP のタイプ	《以》	《爱》 ⁷	合計	%
A.NP _a ＋把 NP _b ＋V＋R	156	154	310	39.54
B.NP _a ＋把 NP _b ＋V＋D	96	93	189	24.11
C.NP _a ＋把 NP _b ＋V＋NP _c	62	40	102	13.01
D.NP _a ＋把 NP _b ＋V＋了	47	51	98	12.50
E.NP _a ＋把 NP _b ＋V 得＋C ⁸	13	16	29	3.70
F.NP _a ＋把 NP _b ＋V＋(NP _c)＋動量	9	15	24	3.06

⁶ 崔希亮・赵霞 2023 からの用例である。

⁷ 《爱情而已》(愛なんてただそれだけのこと)：中国中央电视台テレビドラマチャンネル(CCTV-8)で2023年3月27日から2023年4月12日にかけて放映されたドラマ。以下、《爱》と表記する。

⁸ C は補語を指す。

G.NPa+把+NPb+V	4	10	14	1.79
H.NPa+把+NPb+P+NPc+V ⁹	9	0	9	1.15
I.NPa+把+NPb+V+着	3	5	8	1.02
J.NPa+把+NPb+V(-)V	0	1	1	0.13
計	399	385	784	

2.1 NPa+把+NPb+VR

(8) 冬冬妈妈吗?你快来吧。你家冬冬把同学咬伤了。(《以》27 話)

「冬冬のお母さん?早くお越しに。冬冬が友達を噛みました。」

また、NPa が主題と捉えられる例もある。

(9) 你去新加坡上了几年学都把脑子都学坏了，脑残。(《以》22 話)

「シンガポールの大学で頭が壊れたの?」

(8)は NPa が NPb に対し、V の動作行為により、NPb の状態が R に変化することを述べている。(9)は“你去新加坡上了几年学”という主題が VR “学坏”という変化を引き起こす原因主に解釈される。

次は R が NPb の状態変化を表すのではなく、動相(phase)を表す例である。¹⁰

(10) 两个?你，行吧。不过呀，你得先把那面吃完。(《以》1 話)

「2つだって?まあいい。でも先に麺を全部食べろよ。」

(11) 现在球也不会打，只能把能做的工作做好了。(《爱》10 話)

「今はまだ仕事をこなすしかない。」

データで示されているように、VP が VR の把構文が最も多く、プロトタイプであると考えることができる。¹¹

2.2 NPa+把+NPb+V+DC

このタイプの VP には動詞+方向補語(V1D1D2)がある。¹²

(12) 不知道呀，他就让前五名的家长分享一下经验，然后就把我们学生都赶出去了。

(《以》3 話)

「別に何も。上位 5 位の家族以外は追い出されたもの。」

(13) 咱俩现在在一艘救生艇上眼看船要沉了，你想都不想就把我推下海，自己开船走了，是这么个状况对吧?(《爱》21 話)

「沈みかけた船から私を突き落として逃げるつもりだってこと。そうでしょ?」

⁹ P=介詞(前置詞)

¹⁰ Phase を表す R は他に“到”、“着”、“住”などがある。VR に関しては Li and Thompson1981 を参照。

¹¹ 崔希亮・赵霞 2003、胡文泽 2005、2010、屈承熹 2010、木村英樹 2012 などでも既に同様の指摘がある。

¹² D1=“上、下、进、出、回、过、起”、D2=“来、去”。

上記の例は人やモノの位置変化、いわゆる移動を表している。(12)は已然、(13)、(16)は未然の事象を表している。

2.3 NP_a+把+NP_b+V+NP_c

- (14) 后悔还来得及。你嫌麻烦，把子秋给我，我养。我喜欢孩子，可你舍得吗？(《以》1 話)

「まだ間に合う。子秋をくれたら僕が育てる。子供好きでね。でも手放せる？」

- (15) 那庄北他妈把钱还你了吗？(《以》19 話)

「庄北の母親は返してくれた？」

- (16) 你没把他当朋友吗？(《以》7 話)

「子秋は友達じゃない？」

(14)と(15)はVがNP_bの人やモノなどがNP_cを受領者に位置変化、即ち移動することを表している。(16)のV“当”は「～になる」という意味で、変化に解釈される。

2.4 NP_a+把+NP_b+V+了

- (17) 云云，都三个月了，我才知道。为了要这个孩子，陈婷把工作也丢了。(《以》2 話)

「雲雲を授かったのを3か月目で知ってな。2人目の子供ということで、陳婷は職を失った」

- (18) 脱了，把衣服脱了。(《爱》12 話)

「脱いで。服を脱いで。」

- (19) 你别动刀了。切着手。你把那香菜洗了。(《以》5 話)

「包丁を持つな。手を切る。香草を洗って。」

(17)は已然事象を、(18)、(19)は未然の事象を表す。(17)と(18)をみると、VはNP_aの人から仕事やモノが離脱する事象を表すタイプであると思われるが、(19)を見るとそうとは言い切れないことがわかる。これについては次節で述べる。

2.5 NP_a+把 NP_b+V 得+C

- (20) 你是不容易，我承认这些年你把我跟明月照顾得很好。(《以》38 話)

「君も大変だったことは認める。私と娘の世話をよくやってくれた。」

- (21) 我不想把自己的隐私传得全医院都知道。(《以》25 話)

「プライベートが病院中に知れ渡る。」

V“得”の後の補語の部分は副詞＋形容詞、成語、主述型フレーズがある。(20))は状態に(21)は結果に解釈される。

2.6 NP_a+把+NP_b+V+(NP_c)+動量

- (22) 快把饭热一下。(《以》6 話)

「食事を温めて」

(23) 那你把密码发我一下。(《以》 34 話)

「じゃあ、暗証番号を。」

(22)は V+動量詞、(23)は V+NPc+動量詞の例である。

2.7 NPa+把+NPb+P+NPb+V

(24) 我把你的情况也跟司机师傅说了，司机也查了行程单，说是华兴路那儿接的，到国贸蓝海下的车。(《以》 17 話)

「運転手に事情を伝えてルートを聞いたら、華興路で乗り、国贸蓝海で降りたと。」

(25) 再说了，那你要是一个自私的人的话，那你应该想方设法把子秋认回去啊，你不应该把他往外推呀。(《以》33 話)

「それに君が本当に身勝手だとしたら、子秋を取り戻そうとするはず。遠ざけたりするものか。」

把構文に用いられる介詞は“跟”、“往”の二つだけであった。(24)は介詞“跟”に V の対象が導かれ、(25)は介詞“往”に方向が導かれている。

2.8 NPa+把+NPb+V+着

(26) 唐灿，你还在家吧？你别上厕所了。你现在去我房间，进门左手边，第二个抽屉里，把我的那个银行卡拿着，去长庚医院。(《以》 17 話)

「唐燦、まだ家よね？トイレの前に私の部屋へ行って。引き出しにある銀行カードを持って病院へ。」

(27) 回去住也行。把这几本书带着，妈妈下午专门给你买的，拿回去背，拿着。(《以》 25 話)

「いいわよ。これも持って行って。午後わざわざ買ったの。受け取って。」
コーパスに出てきた V “着” は他に“收着”のみである。

2.9 NPa+把+NPb+V(一)V

(28) 行，那你们俩坐着吃点水果。我到厨房把饭菜弄一弄。咱们马上可以开饭。

(《爱》 35 話)

「果物でも食べてて。料理をするから一緒に食事を。」

VP が VV の用例は上記の一例のみである。次節ではこれらの用例について考察を行う。

3 考察

前節の例についてピリヤードモデル、時間順序の法則(iconicity)の観点から考察を行う。

3.1 ビリヤードモデル(billiard-ball model)と時間順序原則(iconicity)¹³

ビリヤードモデル(billiard-ball model)とは事態の参与者間に生じるエネルギーの移動をビリヤードにおける玉から玉へのエネルギーの伝播に見立てる(1つの段階から別の段階へと続いていく)モデルのことである。

(29) ○⇒○⇒○⇒○→

(○: 物体 ⇒: エネルギーの伝達 →: 移動)

○は事象の参与者を表し、⇒は1つの段階から別の段階へ次々伝わることを表す。

また、このモデルは、Tai1989,1993,1995,2003 で明らかにされている中国語の語順は事象の発生順序通りに並べられるという類像性(iconicity)の考え方にも合致している。¹⁴以下の例を見てみよう。

(30) 他(NPa)把门(NPb)踢开了。¹⁵

(30)を(29)に当てはめると次のようになる:

NPa	把	NPb	V	R(結果)
○	⇒	○	→	○
(変化)				

(30)は、NPa“他”が“把”により力がNPb“门”に伝わり、NPb“门”がVR“踢开”という変化を被ることを表している。

以下では前節で上げた用例を見ていく。

3.2 ビリヤードモデルと用例

3.2.1 VP-VR(動詞+結果補語)

(8)' 冬冬妈妈吗?你快来吧。你家冬冬(NPa)把同学(NPb)咬伤(VR)了。¹⁶

NPa	把	NPb	V	R(結果)
○	⇒	○	→	○
(変化)				

(8)'はVPがVRの用例である。NPa“你家冬冬”が“把”により力がNPb“同学”に伝わり、NPb“同学”がVR“咬伤”という変化を被ることを表している。

3.2.2 VP-VD(動詞+方向補語)

(12)' 不知道呀, 他(NPa)就让前五名的家长分享一下经验, 然后就把我们学生(NPb)都赶出去(VD)了。

NPa	把	NPb	V	R(方向)
-----	---	-----	---	-------

¹³ ビリヤードモデルについては辻 2013、大谷 2019 を参照。時間順序原則(iconicity)については Tai1985、1989、1993、2003、戴 2002 を参照。

¹⁴ Tai1985 では時間順序の原則(the principle of temporal sequence ; PTS)という。

¹⁵ 戴 2002 からの用例である。

¹⁶ 把構文のビリヤードモデル分析は行為連鎖モデル(Action Chain model)として、屈莉 2021 が詳細に行っている。



(移動)

(12)'では、NPa “他” から “把” により力が NPb “我们学生” に伝わり、NPb “我们学生” が VD “赶出去” という移動を被ることを表している。

3.2.3 VP-V+NPc

(15)' 那庄北他妈(NPa)把钱(NPb) 还你(NPc)了吗?

NPa 把 NPb V NPc(着点)



(移動)

(15)'では、NPa “庄北他妈” から “把” により力が NPb “钱” に伝わり、NPb “钱” が NPc “你” に V “还” という行為で、移動することを表している。NPc “你” は着点になると解釈される。

3.2.4 VP-V+了

(17)' 当时陈婷怀云云，都三个月了，我才知道。为了要这个孩子，陈婷把工作也丢(V)了。

NPa 把 NPb V



(変化/完了)

(17)'では、NPa “陈婷” から “把” により力が NPb “工作” に伝わり、NPb “工作” が V “丢” により、NPa から離れていくという抽象的な移動を表している。しかしながら、把構文の VP が “V+了” であっても、移動に解釈されないものもある。

(19) 你别动刀了。切着手。你把那香菜洗了。

(31) 别傻站着呀。去把杨梅洗了。你不最爱吃吗?

「ヤマモモを洗ったら? 大好物でしょ。」

(32) 你把沙拉做了吧。

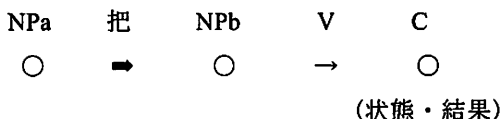
「サラダを作れ」

三例とも未然の把構文である。(19)では NPa “你” から “把” により力が NPb “那香菜” に伝わるが、V “洗” という動作行為により、NPa “你” から離れるという移動にも、NPa “你” に近づくという移動にも解釈されない。(31)も同様である。両文とも “洗” がこれから完了することを表す。これはおそらく “洗” という動作行為が、対象の NPb “那香菜” や “杨梅” の汚れや虫などを落とすという日常的な行為によって汚れが落ち、虫がいなくなるという結果になることを背景知識として想起されるために成立すると考えられる。(32)は PTS に違反しているように見える。NPb “沙拉” は “做” が完了してから発生するものであるが、この場合には発話者に既に “沙拉” がイメージされているた

め、成立するものと考えられる。このような用例は(38)以外には見つからなかった。(38)では“沙拉”が概念世界(話者の脳内空間)に想起されているため、PTS には違反していないと考えられる。

3.2.5 VP-V 得 C

(20)' 你是不容易, 我承认这些年你(NPa)把我跟明月(NPb)照顾得很好(V 得 C)



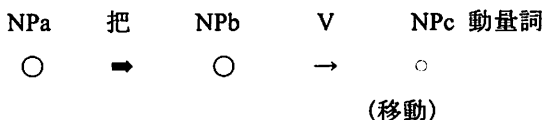
(20)'では、NPa “你” が “把” により力が NPb “我跟明月” に伝わり、NPa “你” が NPb “我跟明月” に対し、V “照顾” によって発生する状態や結果を表す C が “得” で接続されている。(20)'では補語の “很好” が V “照顾” によって発生する状態を表している。一方、C が結果に解釈される場合もある。

(21)' 我不想把自己的隐私传得全医院都知道。

(21)は未然ではあるが、C の “全医院都知道” は主述型の補語のため、V である “传” の結果に解釈されやすくなる。

3.2.6 VP-V+ (NPc) + 動量詞

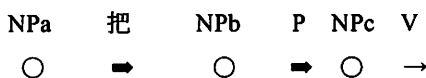
(23)' 那你(NPa)把密码(NPb)发我(NP3)一下(VNPc 動量詞)。



(23)'は、未然の事象である。NPa “你” が “把” により力が NPb “密码” に伝わり、NPb “密码” が NPc “我” に V “发” で移動しようとする動作行為を表す。動量詞 “一下” を付加することについては後で述べる。

3.2.7 VP-P+NPc+V

(25)' 再说了, 那你要是一个自私的人的话, 你应该想方设法把子秋认回去啊, 你(NPa)不应该把他(NPb)往外(NPc)推呀。

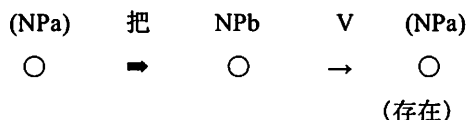


(25)'は未然の事象である。NPa “你” が “把” により力が NPb “他” に伝わり、NPc “外” の方向に NPa “你” がということを表している。介詞 P “往” が方向を導き、単独では概念しか表さない “外” を具体的な場所にしており、移動のように解釈される。¹⁷

3.2.8 VP-V+着

(27)' 回去住也行。把这几本书带着, 妈妈下午专门给你买的, 拿回去背, 拿着。

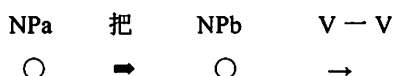
¹⁷ その他には “往这领, 往上拽, 往外推, 往哪娶” などがある。



(27)'は未然の事象を表す。(27)は母親の娘に対する動作を促す会話であり、NP_a “你” はここでは省略されているが、コンテキストや状況により想起され、“把”により力が NP_b “这几本书”に伝わる。V “带”はモノや人を特定の場所に位置させる定位動詞であり、“着”は定位動詞に付着し、動作の実現の結果として人やモノが特定の空間に存在する状況を表す。¹⁸ここでは、現れていない NP_a “你”が NP_b “这几本书”が結果として存在する場所になると考えられる。

3.2.9 VP-V(一)V

(28)' 行, 那你们俩坐着吃点水果。我(NP_a)到厨房把饭菜(NP_b)弄一弄。咱们马上可以开饭。



(28)'は未然の事象を表す。NP_a “我”が“把”により力が NP_b “饭菜”に伝わり、NP_b “饭菜”が V “弄”に動作行為の働きかけを受けることを表すが、NP_bの移動も変化も表していないにもかかわらず、把構文が用いられている。

以上、ビリヤードモデルと PTS から用例を分析したが、凡そまとめると次のようになる。

(33)a. 状態／状況変化

(8) 冬冬妈妈吗?你快来吧。你家冬冬(NP_a)把同学(NP_b)咬伤了。NP_bの状態変化

(19) 你别动刀了。切着手。你(NP_a)把那香菜(NP_b)洗了。NP_bの状態変化。¹⁹

(21) 我(NP_a)不想把自己的隐私(NP_b)传得全医院都知道。NP_bの状況変化。

(14) 你(NP_a)没把他(NP_b)当朋友(NP_c)吗? NP_bの状況変化

b. 位置変化

(12) 不知道呀, 他(NP_a)就让前五名的家长分享一下经验, 然后就把我们学生(NP_b)都赶出去了。NP_bの位置変化

(15) 后悔还来得及。你(NP_a)嫌麻烦, 把子秋(NP_b)给我, 我养。我喜欢孩子, 可你舍得吗? NP_bの位置(所有者)変化

(17) 云云, 都三个月了, 我才知道。为了要这个孩子, 陈婷(NP_a)把工作(NP_b)也丢了。NP_bの位置変化(消失)

(27) 回去住也行。把这几本书(NP_b)带着, 妈妈下午专门给你买的, 拿回去背, 拿着。

¹⁸ 木村 2012, 146-147 を参照。

¹⁹ 陆俭明・沈阳 2016〔監訳〕古川裕・〔訳〕葛婧・畢曉燕・中田聡美 2021 参照)

NPb の位置変化後の存在

c. 行為

(25) 再说了, 那你要是一个自私的人的话, 那你应该想方设法把子秋认回去啊, 你不应该把他 (NPb) 往外推呀。

(22) 快把饭 (NPb) 热一下。

(28) 行, 那你们俩坐着吃点水果。我 (NPa) 到厨房把饭菜 (NPb) 弄一弄。咱们马上可以开饭。

(33a)の(8)は V と R が PTS に従って並べられ、把構文と融合し、NPa の行為(V)で NPb が R の状態に変化すると解釈される。(19)は V の後に R はないが、背景知識より R が想定され、(8)と同様に把構文と融合し、変化に解釈される。(21)は V 得に主述型フレーズが PTS に従って並べられ、把構文と融合し、結果に解釈される。(14)は“当”が「～になる」という変化動詞であり、把構文と融合し、変化に解釈されるが、“把”の前に否定詞“没”のついた疑問文であるため、変化の実現は表されていない。いずれも把構文の構文義の比較的緩やかな因果関係と融合し、変化読みが想起される。

(33b)の(12)は PTS に従って並べられ、把構文と融合し、NPa の行為で NPb の位置が変化すると解釈される。(15)は PTS に従って、授与動詞“给”の後に着点を表す NPc が並べられ、把構文と融合し、NPb の NPc への位置変化に解釈される。(17)は V が消失動詞であり、把構文と融合し、NPb が NPa より消失するという抽象的な位置変化に解釈される。(27)は“带”が定位動詞であり、“带着”で所持しておくという意味になり、把構文と融合し、VR のように解釈される。

(33c)の(25)を PTS の観点から説明するなら、“他往南看”のように、先ず南の方を向き、次に見るという行為を実行するという表現からの類推であり、NPb “他”を外に向けるが先にあり、そちらへ押すという行為が後と捉えられている。これについては、木村 2014 の“指称”の観点からでも説明可能である。無標である単純方位詞は具体的な場所を表現するには何らかの参照点が必要である。そこで、前置詞“往”をつけて、“往外”とすることで、「外の方へ」という具体的な意味になる。把構文自体が具体的な動作からその結果(変化・移動)まで(PTS から比較的緩やかな因果関係が派生する)を求める構文のため、VP に移動や変化など時間の推移が必須であることが理解できると思われる。動作の方向を表すためにはここでは具体的な場所を表す“往外”の形式が必要なのである。なおここでの“外”は物理的な外という意味ではなく、血縁関係の外という意味である。(30)は VP が“V+動量詞”である。動詞に動量詞を付加することで、実体的な動作に言及されているのである。先ほど述べたように、把構文自体が具体的な動作からその結果(変化・移動)まで(PTS から緩い因果関係が派生する)を求める構文のため、“一下”がなければ、(22)は成立しないのである (*快把饭热.)。(28)は動詞の重ね型であるが、動詞の重

ね型も実体的なリアルな時空間におけるアクチュアルな動きに言及する形式である。動詞を重ね型にする理由は(22)と同じと考えられる。

4 おわりに

本稿は把構文がビリヤードモデルと PTS に従って NP_a、NP_b、VP が配列されていることに着目し、構文義として比較的緩やかな因果関係を持っていると想定した。この構文義と NP_a、NP_b、VP などの種類やコンテキストといった百科事典的知識が融合し、把構文が解釈されるのである。また、VP に動作を表す形式である“V+動量詞”、“VV”についても、把構文は PTS に基づいた時間の推移を表す構文であることから、動作行為だけを表す場合、木村 2014 に基づいたリアルな時空間における具体的な動きを表す形式が把構文にも必要であることを述べた。PTS に従うことの証拠として、VR や VD の後に別の事象が付加されている例も見られた。

(34) 现在国内好大学那么多，到时候，我把新加坡的房子一卖，我们就彻底回来了。

(《以》 35 話)

「いい大学は多いもの。そしてシンガポールの家を売れば本帰国できる。」

(35) 我跟你說呀，我让小北啊，把你的电视剧都找出来看了，挺好的。(《以》 36 話)

「小北に出演作を全部集めさせて見たけど、最高だった。」

5 余論

今回は取り上げられなかったが、以下のように、把構文が修飾語として用いられる例や状態(結果)補語としての用例も見られた。これらをどのように分析すべきかは今後の課題としたい。

(36) 命运把我捆绑在轮椅上的时候，我却把你捆绑在我身边。(《以》 36 話)

「車椅子に縛りつけられた私が、息子を縛り付けてしまった。」

(37) 我这姐弟恋谈得把我男朋友谈成小学生了。(《爱》 38 話)

「私の年下彼氏はまるで小学生みたい。」

また、情報構造と構文文法を融合した陆俭明 2016、陆俭明・沈阳 2016([監訳]古川裕 2021)についても言及することができなかった。陆俭明 2016、陆俭明・沈阳 2016(古川裕 監訳 2021)では、把構文は

(38) 主题(処置者)+“把”処置の対象+焦点(処置の結果)

という構文義であると想定し、以下の用例を説明している。

(39) 姐姐把所有的衣服都洗干净了。

(40) 姐姐把所有的衣服都洗了。

(39)も(40)も動作主を表す“姐姐”が主題であり、“所有的衣服”は処置の対象として

“把”によって、動詞または動詞＋結果の前に導かれ、(39)は“洗”が処置の方法を表し、“干净”が結果に、(40)は“洗”が処置の方法と結果が一体化していると説明している。

また、(38)は旧情報から新情報へという情報構造から考えると、処置の結果が最も際立っており、結果を否定するような文を後続することはできないという。

(41) 张三用力把那铁锁砸了，门当然就给开了。

(42) *张三用力把那铁锁砸了，可是门没给砸开。

(41)も(42)も把構文は結果が際立っているため、(42)の後続文は把構文と矛盾するため、不適格な文と判断されるのである。

この情報構造に基づいた(38)の構文義を用いれば、(33c)の(12)の“往外推”、(22)の“热一下”、(28)の“弄一弄”はそれぞれ、“推”、“一下”、“弄一弄”または後ろの“弄”に処置の結果と同じように焦点があると考えていいのかもしれないが、これについては今後の課題としたい。

<参考文献>

[中国語]

崔希亮・赵霞 2023<汉语把字句的事件结构分析>《语言教学与研究》vol1. 49-63

戴浩一 2002 <概念结构与非自主性语法:汉语语法概念系统初探>《当代语言学》vol1. 1-12

胡文泽 2005 <也谈“把”字句的语法意义>《语言研究》vol25. 2. 21-28

胡文泽 2010 <“把”字句语法意义在“把”字结构句中的不平衡表现>《语言研究》vol30. 145-50

陆俭明 2016 <从语言信息结构视角重新认识“把”字句>《语言教学与研究》vol1. 1-13

陆俭明・沈阳 2016《汉语和汉语研究(第二版)》([監訳]古川裕・[訳]葛婧・畢曉燕・中田聡美 2021『中国語と中国語研究十五講』東方書店)

屈承熹 2010《漢語功能篇章語法—從認知、功能到篇章結構》文鶴出版有限公司

沈家煊 2002 <如何处置“处置式”—论把字句的主观性>《中国语文》vol. 5. 387-399

沈家煊 2004a <动结式“追累”的语法和语义>《语言科学》vol. 3. 6. 3-15

沈家煊 2004b <句法的象似性问题>《语言的认知研究—认知语言学论文精选》103-116

石毓智・李讷 2001《汉语语法化的历程—形态句法发展的动因和机制》北京大学出版社

石毓智 2003《现代汉语语法系统的建立—动补结构的产生及其影响》北京语言大学出版社

石毓智 2006《语法化的动因与机制》北京大学出版社

薛凤生 1987 <试论“把”字句的语义特性>《语言教学与研究》vol1. 4-21

张伯江 2001 <论“把”字句的句式语义>《语言研究》vol. 1. 28-40

张伯江 2019 《说把字句》学林出版社

張麗麗 2003 〈動詞複合與象似性〉《語言暨語言學》vol. 4. 1. 1-27

[英語]

Bernd Heine,Ulrike Claudi and Friederike Hunnemeyer 1991“From cognition to grammar:

Evidence from African Languages,”Approaches to Grammaticalization vol.1,ed.by Elizabeth

Closs Trugott and Bernd Heine,149-188,John Benjamins Publishing

Company,Amsterdam,Netherlands.

Feng-fu Tsao1987 A TOPIC-COMMENT APPROACH TO THE CONSTRUCTION/从主题一评

论的观点看“把”字句.Journal of Chinese linguistics,Vol15,No,1: 1-15

Fillmore Charles J.1985 Frames and the Semantics of Understanding Quaderidi Semantica

volVI.no2. 222-254

Goldberg,A.1995 Constructions.University of Chicago Press,Chicago.(河上哲作/早瀬尚子/谷口

一美/堀田優子訳 2001『構文文法』研究社)

Langacer ,Ronald W.2008 Cognitive Grammar: A basic Introduction Oxford([監訳]山梨正明

2011『認知文法論序説』研究社)

Li Charles N and Thompson Sandra A.1981 Mandarin Chinese : A Functional Reference Grammar

University of California Press

Tai James H-Y 1985 “Temporal Sequence and Word Order in Chinese”Iconicity in Syntax,ed.by

John Haiman,49-72,John Benjamins Publishing Company,Amsterdam/ Philadelphia(戴浩一

1988 〈时间顺序和汉语的语序〉《国外语言学》,黄河(译)vol1.10-19)Philadelphia.

Tai James H-Y1989 Toward a Cognition-Based Functional Grammar of Chinese.Beijing language

and Culture Univrity Press,Beijing Language and Culture university Press,Beijing

Tai James H-Y1993 “Iconicity:Motivations in Chinese Grammar”Principles and Prediction: The

Analysis of Natural Language,ed,by Mushira Eid and Gregory Iverson,153-174

Tai, James H-Y. 2003. Cognitive Relativism: Resultative Construction in Chinese.*Language and*

Linguistics, 4.2.: 301-316.

Talmy Leonard 2000b. Toward a Cognitive Semantics,vol.2 : Typology and Process in Concept

Structuring.Cambridge : MIT Press([監訳]岩田彩志・菊田千春・西山淳子 [訳]對馬康博・

藤川勝也・岩田彩志 2024『認知意味論を目指してⅢ』開拓社)

[日本語]

秋山淳 2018a.「類像性と結果補語」『下関市立大学論集』第 61 卷第 3 号 103-111

秋山淳 2018b.「コーパスに基づく中国語の NP1+V+R+NP2 構文の認知言語学的分析—

- “唱紅”を一例として』『認知言語学研究の広がり』1-17, 開拓社：東京
- 秋山淳 2018c. 「日本語と中国語の結果複合動詞について—認知言語学の観点から—」『銘傳日本語教育』第21期, 17-46, 銘傳大學教育暨應用語文學院應用日語學系出版
- 秋山淳 2021 「コーパスに基づく VR(動詞+結果)他動詞構文の認知言語学的分析—V 紅を一例として—」『下関市立大学論集』第65巻第2号 103-118
- 井上優 2012 「テンスの有無と事象の叙述形式—日本語と中国語の対照研究」『日中理論言語学の新展望—②—意味と構文』影山太郎・沈力編 くろしお出版 1-26
- 大谷直輝 2019 『ベーシック英語構文文法』ひつじ書房
- 木村英樹 2012 『中国語文法の意味とカタチ—「虚」的意味の形態化と構造化に関する研究—』白帝社
- 木村英樹 2014 「“指称”の機能—概念、実体および有標化の観点から—」『中国語学』261号 64-83
- 屈莉(2021) 「“把(BA)” 構文から見た中国語母語話者の事態の捉え方」『高岡法科大学紀要』32巻 7-38
- 曹泰和 2012 「中国語の“把”構文と日本語の結果構文における対照研究—認知言語学の視点から—」『駒沢大学外国語論集』12号 229-253
- 辻幸夫編 2013 『新編認知言語学キーワード事典』研究社
- 村尾晴彦 2006 「結果構文における認知領域と拡張の方向性」『認知言語学論考』No.6.199-240
- BCC 語料庫